

あさみまちづくり協議会
 準備委員会広報誌
 発行責任者・田村 正
 松阪市大宮町 209-4
 朝見地区市民センター内
 電話 0698-51-6048
 2005.10.25 発行
 第2号

大地震に備えて、

地区防災訓練を行う！

松阪消防本部が協力、

多勢の朝見住民が参加する。

朝見自治会・朝見福祉会・朝見消防分団共催
 「あさみまちづくり協議会」準備委員会後援
 実践しながらの訓練が行われ、無事救出訓練が成功するたびに、会場内に大きな拍手が起こった。



平成十七年十月二日秋空の下で、地域住民・四九〇名が参加して、松阪市消防団の協力の下、朝見地区連合自治会・松阪市消防団朝見分団・福祉会共催で、「朝見地区ふれあい防災訓練」が、朝見小学校を中心に盛大に開催された。それに先立ち、各町では自主防災隊のもと防災機具の点検、訓練、人員の点呼などを行い、避難場所である朝見小学校に結集して、訓練本部に人員の報告、事故の有無、所要時間等の報告を行った。十一時より開会式を行った。

開会式は来賓に松阪市役所より池村正巳収入役が挨拶、実行委員長田村正、西口稔公民館長、小川義治校長の挨拶に続き、岡田浩昌分団長から防災訓練の概要説明があり、本日「只今朝見地区に大地震が起こり、大被害が起こった模様」との想定で開始された。赤バイ隊の被災地への急行偵察、報告があり、消防救急隊、消防団、自主防災隊が出勤し、倒壊家屋の中から被災者の救出訓練を、4班に分れ

救出作業のポイント
 ①二次災害を起こさない
 ②被災者に元気の出るよう呼びかけ
 ③被災者の安全確保
 ④救出者に負担を掛けないよう、救出・搬送作業をする。厚食には各町の炊き出し班による「おにぎりとお茶」が配給された。午後からは、地震体験車、煙体験テント、消火器・放水による消火訓練、救急工作車・ハシコ車の展示操作も行われた。

児童達は赤バイの試乗や防

体育館で演奏会
 十四時からは、松阪市消防音楽隊による演奏会があり、鉄腕アトム、ドラエモン、きよしのサウンドコング、世界にひとつの花など全七曲を演奏、盛大は拍手を受けていた。開会式には、音楽隊の演奏で参加した、1、3年生の児童が「マツケンサンバ」を、元気に踊り有終の美を飾り、防災訓練の好評に松阪消防署の井上氏が、盛大に開催されたことをたたえた。



(松阪市役所より、池村収入役の挨拶)



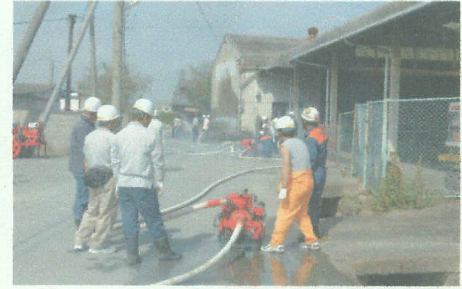
(松阪ケーブルテレビが取材に)



(開会式に聞き入る参加者)



(地震体験車で震度5を体験)



(各町のポンプを連結して放水)



(がれきのしたからの救出訓練)



(音楽隊の演奏に聞き入る)



(音楽隊のマツケンサンバを踊る参加者の1、3年生の子も)



(模擬の訓練、松阪消防署)

田村実行委員長の談話
 今回の防災訓練には自治会・公民館、消防団、寿会、福祉会を、はじめ各種団体の方々にご協力を頂き、無事故・大成功に終わることが出来ました。本当にありがとうございました。また、各町の沢山の方々にも参加をして頂きご苦労様でした。今回の防災訓練は、今推進します、「あさみまちづくり協議会」を視野において、運営をしました。後日総括をして、今後の安心で住みよい、町づくりに生かして行きたいと思っております。

災害時協力企業紹介コーナー

- (大宮田) 茂谷工務店・珍田木材有限会社・大徳建設株式会社・上川運送株式会社
- (下七見) 東部建設株式会社 (朝田) 株式会社北川鉄工建設 (立田) 宝石油株式会社
- 株式会社伊勢クレーン・荒木田製材所・中尾木材有限会社・株式会社ミック (古井) 有限会社松井工務店・榊産業有限会社・エムエフマツモト有限会社・岡田園芸・株式会社サンカ機工 (新屋敷) 共同クレーン (上七見) 鈴木為郎農産・(尚) 橋本電機・地球に優しい奥村農産 (和屋) ススキ産機有限会社・溝口土建・井上組・有限会社安達建設 (佐久米) 小林ファームライスセンター

第二回あさみまちづくり協議会

準備委員会開催される 部会制度等具体策を検討!

平成十七年十月十三日午後十九時三十分より、朝見地区センターにて開催。田村正会長の挨拶は、先日のふれあい防災訓練の成功、里に終わった感謝とともに、今回の経験を活かして、イザという時に備えて行こうと話があり、当日の写真(葛谷自治会長撮影)を鑑賞した。アンケート調査の報告があり、鈴木(理)自治会長から明細に成功の反響と今後の課題も報告された。あさみまちづくり協議会も

第二段階に入り、部会制度の付いて、提案、検討がなされ、別表のように、部会別所属団体が明確になった。今後はこの部会別組織の振り回しだが、会合が持たれるようになる。あとボランティア加入登録(コスモス)の審査と災害時協力企業の申し込み報告がありとも了承された。

(あさみ)準備委員会では、今後部会別協議を進め、部長会などを開催して進めて行く事になる。

部会名	自治会担当	団体名
防災部会	小林(幸) 小林(純)	消防団 自主防災隊 交通安全指導員 ボランティア G
防犯部会	葛谷 奥田	
福祉部会	倉田 鈴木(理)	民生児童委員 ボランティア G 体育委員 文化委員 高齢者学級委員 趣味クラブ
公民館部会		青少年協議会 青少年育協 保護司
青少年育成部会	野尻 福永	
地域環境部会		地域代表委員 自治会 OB 土地改良区総代・理事 自治会 寿会 朝見幼少 PTA
専門部会		
企画室	鈴木(三)	

ふれあい防災訓練

アンケート調査結果報告

今回の訓練を通して、地震防災の必要性を実感

参加者の中から233名の方にご回答頂き大変にありがとうございました。

- (1) 防災訓練に参加してどう思われましたか? 95%参加して良かった。更
- (2) 他の防災訓練と比較してどう感じましたか? 49%今回の方が良かった。(60代・女)
- (3) 防災訓練の継続実施に付いては、71%の方が、年一回の実施を希望されたいという結果となり

ました。

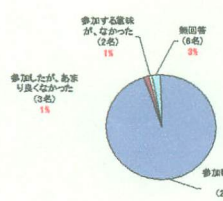


訓練評価

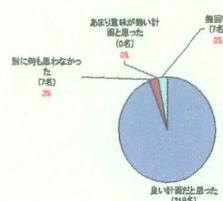
- (1) 老人と子供の立場に立った内容を織り込んだ訓練で良かった。(40代・男)
- (2) 初めての企画でしたが良かったと思います。防災意識に関心を持って日頃から飲料水の備蓄、近所との連携に努力したいと思いました。(60代・女)
- (3) 自分自身で体験すること、大変良い事だと思えます。出来るだけ沢山の人が参加されたい。(30代・女)
- (4) 訓練を通して地震防災の必要性を認識出来た。(50代・男)

今後の要望

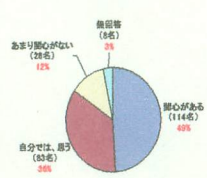
- (1) 時間が長いのでもう少し短時間で検討してほしい。(30代・女)
- (2) 小学生が参加する内容をもう少し増やしてほしい。(小学生・女)
- (3) 参加出来るものを多くしてほしい。(40代・男)
- (4) 今後、年に一度は行なうしてほしいと思います。(70以上・女)
- (5) 暑かったのでもう少し涼しい頃をお願いします。(60代・女)
- (6) 夜間の訓練も検討してほしい。(40代・男)
- (7) 全員が、回りの形で訓練に参加出来るように。(50代・女)
- (8) 人工呼吸訓練をもっとしっかりやりたい。(83歳・男)
- (9) 日常、子供・女性は、多く家にいるので最低限の訓練を町内単位でやるべき。町内で計画してほしい。(40代・男)



*今回、防災訓練に参加してどのように感じましたか?



*今回、防災訓練のことを聞いたか? どのように感じましたか?



*他の防災訓練と比較してどう感じましたか?

創刊記念寄稿②

朝見が一つにまとまるキーワードって何? 顧問 榎本義謙

「あさみまちづくり」という聞きなれない言葉に、とまどっていらっしやいませんか。私たちは、朝田は朝田、立田は立田というように、朝見十力村それぞれが町であるとの意識で生活してきました。これから行なおうとしている「まちづくり」は、朝見十力村を一つの町として考えることから始まります。いわば松阪市に合併される前の「朝見村」の復活と言ってもよいかもしれません。「朝見村」には村会があって、村会議員がいて、朝見の自治が行われていました。地区の問題を朝見全体の課題としてとらえ、自分達の手で解決していた時代です。松阪市の中の朝見として、もっと独自性をもちつつこの「あさみまちづくり」なのです。



前号で山路先生が、農業の後継者問題と少子化のことを取り上げてみえました。私も同感です。「朝見の農業をどう育てるか。子供の遊び声が聞こえるまちづくりはどうすればよいか? 私はこちらが「朝見村」を一つにまとめるキーワードだと思っています。これを解決するために何をすればよいのか。この二つの課題を軸に「朝見村」の青写真を描いてみたら、これから進む方向が見えるような気がします。以上

朝見地区の特性を生かした地域づくり

顧問 田中祐治

右肩上がりの経済発展や人口増加を前提とした「成長の時代」から、少子・高齢社会、「成熟の時代」へと移り変わり、まちづくりは大きな転換期を迎えています。松阪市も全国の多くの自治体同様、巨額の財政赤字に陥り公共サービスが十分に提供できなくなり、時代はハードからソフトへと流れはじめております。



このような時代環境の移り変わりから、これからは自分

たちの地域は自分たちが創って行く時代へと考え方も移行していかねば取り残されていくのは目に観えております。この時代の流れから取り残されないためにも、地域の人々が、地域の課題や、自分たちのまちづくりに、知恵を集め、力を合わせて取り組んでいかねばなりません。そのための方向づけを握る大きな鍵として朝見地区の特性を生かした地域づくりこそ将来の展望へと繋がると感じております。

皆さまの声、意見が「あさみコミニティー」を創ります! あさみ協議会(略称)が設立に向けて具体的に活動を開始しました。あさみによるあさみづくりに、皆さまの、ご自由なご意見・ご提案・質問等をお聞かせ下さい。連絡先・朝見地区センター・投函ポストありでんわ・0598-51-5643 (田村・鈴木)